別記様式第１号（第５条関係）
その１

年　　月　　日

関市長　様

関市医学生等修学研修資金貸与申請書

医学生修学資金の貸与を受けたいので、関市医学生等修学研修資金貸与条例第５条の規定により、関係書類を添えて申請します。

なお、貸与を受けることとなったときは、同条例及び規則の規定を遵守し、市内公的医療機関等の業務に従事します。

記

<table>
<tr><td rowspan="6">申請者（本人）</td><td>ふりがな</td><td colspan="4"></td><td colspan="2">生年月日</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td colspan="4"></td><td colspan="2">年　　月　　日
（満　　歳）</td></tr>
<tr><td>現住所等</td><td colspan="6">〒
電話（　　）　　－</td></tr>
<tr><td>帰省先等住所</td><td colspan="6">〒
電話（　　）　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学校名等</td><td colspan="3"></td><td>学部学科・研究科</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>所在地</td><td colspan="2"></td><td>学年</td><td colspan="2">年</td></tr>
<tr><td rowspan="5">連帯保証人</td><td>ふりがな</td><td colspan="3"></td><td>性別</td><td colspan="2">生年月日</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td colspan="3"></td><td>男
女</td><td colspan="2">年　　月　　日
（満　　歳）</td></tr>
<tr><td>現住所等</td><td colspan="3">〒
電話（　　）　　－</td><td>本人との続柄</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">職　　業</td><td>勤務先名</td><td colspan="2"></td><td>税込年収</td><td colspan="2">円</td></tr>
<tr><td>所在地等</td><td colspan="5">電話（　　）　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="5">連帯保証人</td><td>ふりがな</td><td colspan="3"></td><td>性別</td><td colspan="2">生年月日</td></tr>
<tr><td>氏　　名</td><td colspan="3"></td><td>男
女</td><td colspan="2">年　　月　　日
（満　　歳）</td></tr>
<tr><td>現住所等</td><td colspan="3">〒
電話（　　）　　－</td><td>本人との続柄</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">職　　業</td><td>勤務先名</td><td colspan="2"></td><td>税込年収</td><td colspan="2">円</td></tr>
<tr><td>所在地等</td><td colspan="5">電話（　　）　　－</td></tr>
</table>

添付書類

１　大学又は大学院の在学証明書

２　大学生は申請者の戸籍抄本又はこれに代わるもの、大学院生は医師免許証の写し

３　関市医学生等修学研修資金貸与推薦調書（別記様式第２号）その１

４　前年度の学業成績証明書（申請者が大学の第１学年にあっては卒業した高校等、大学院の第１学年にあっては卒業した大学の卒業成績証明書）

５　その他市長が必要と認めるもの

※連帯保証人２人は生計を一にしない別世帯の者とし、申請者が未成年者であるときは、連帯保証人のうち１人は申請者の法定代理人でないと認められません。

※　次年度も引き続き申請する場合には、原則同一保証人とします。